

コピーして使える!

これならできる!

犬の シャンプー 療法





執筆・江角真梨子 (Vet Derm Tokyo)

獣医師。日本獣医皮膚科学会認定医。日本コスメティック協会認定指導員。日本大学獣医学科卒業後、動物病院の勤務医として一般診療に従事。その後、東京農工大学動物医療センター 全科研修医修了後、現在のVet Derm Tokyoに所属し、各地の動物病院に出

張で皮膚科診療を行っている。専門学校ビジョナリーアーツ非常勤講師、帝京科学大学非常勤講師なども務める。現在、オンラインサロン「どうぶつの皮膚科相談室」にて動物看護師さん、トリマーさんを対象にした動物の皮膚のトラブルに関する相談を受け付けている。

シャンプー療法の基礎知識

はじめに

犬の皮膚病は、動物病院に来院する疾患の中で来院率の高い疾患です。「アニコム家庭どうぶつ白書2016」(アニコムホールディングス株式会社調べ)によると、アニコム損保の犬全体の保険請求理由の中では皮膚疾患がもっとも多く、24.0%を占めています。

特に犬の皮膚疾患の中でも多い割合を示すのはアレルギー性皮膚炎、表在性膿皮症、マラセチア性皮膚炎などで、いずれの疾患も再燃と寛解を繰り返すことが特徴で、長期的な管理が必要となるケースが多いです。これらの皮膚病の治療には、薬物療法(内服、外用)が中心となるものが多いですが、近年では、治療の一貫としてシャンプー療法も注目されています。シャンプーや保湿剤を中心とするシャンプー療法は、薬の減量、皮膚トラブルの改善、皮膚トラブルの予防を目的として用いられ、さらに近年、さまざまなシャンプー製剤や保湿剤の有用性が確認されており、治療の重要なツールとして皮膚科診療においても積極的に取り入れはじめています。

一方で、シャンプー療法を実施するにあたり、①病院側の問題、②飼い主側の問題、③犬の問題など、さまざまな要因により、うまく実施できない場合があります。

そのため、私たちは①～③の問題を可能な限り解決し、シャンプー療法を成功させる必要があります。飼い主さんへのシャンプー指導に関しては、獣医師、動物看護師、トリマーの誰が行うかは動物病院の方針によって異なると思います。

動物病院の獣医師126名を対象に飼い主さんへのシャンプー指導に関するアンケートを行ったところ、獣医師による指導は65%、動物看護師やトリマーによる指導は19%という結果で、現状としては獣医師がシャンプー指導を行っていることが多いようです。また、12%が動物看護師やトリマーに行ってもらいたい但实际上は獣医師が指導しているという結果で、動物看護師に指導をしてほしいという獣医師からの期待も高まっております。

筆者自身の経験では、診察室では緊張してしまう飼い主さんも動物看護師の皆さんが説明することによって、リラックスした空気の中で説明を聞くことができ、自宅でのシャンプーが受け入れやすくなると感じています。飼い主さんとの距離が近く、親しみやすい動物看護師さんだからこそできる仕事の一つではないかと思えます。実際に飼い主さん64名に自宅でのシャンプーがうまくできたかのアンケート調査を行った所、うまくできたと答えた方は36%、うまくできなかったと答えた方は64%で、半数以上の飼い主さんは、うまくできなかったという結果でした。

シャンプー療法の成功には、飼い主さん、獣医師、動物看護師、トリマーの4者一体となったフォローが必要です。4者間の意思疎通や一貫した指導が必要となりますので、飼い主さんにどのようなシャンプー剤が処方され、どのような指導を行ったかは必ず共有することが大切です。

本稿では、シャンプー療法の理解のために皮膚の構造、シャンプー剤の種類、ご自宅でのシャンプーの実践方法、飼い主さんへの指導を中心に解説します。

皮膚の構造

犬の皮膚は大きく分けると、表皮、真皮、皮下組織の3つの構造から成り立っています(図1)。表皮は角質層、顆粒層、有棘層、基底層と分かれており、角質層は角質細胞と角質細胞がレンガのように積み重り、そのレンガの間は皮膚の水分を保持する上で重要なセラミドやコレステロールなどの細胞間脂質が埋めるように満たされています。

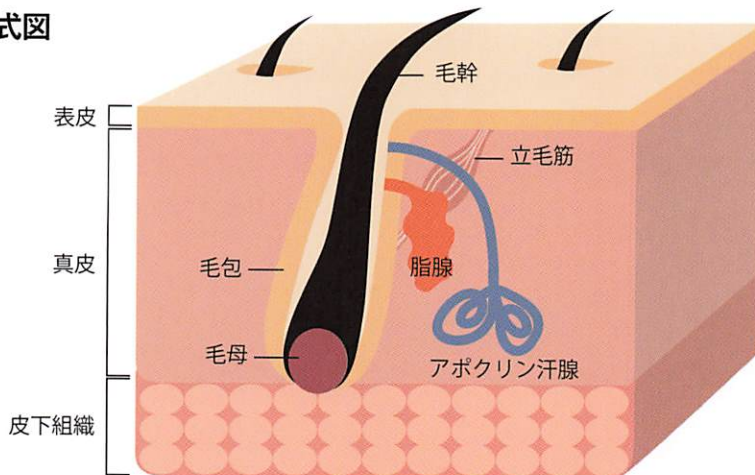
角質細胞が剥がれたものをいわゆる「フケ」と呼んでいます。角質細胞は皮膚の基底層で生成されて、その後有棘層、顆粒層、角質層へ移行し、最終的には角質細胞が剥がれて「フケ」になります。

この皮膚が生まれ変わるサイクルをターンオーバーといい、犬のターンオーバーは21日の周期といわれています。フケが多いときは、このターンオーバーが早くなっており、皮膚トラブルが起きていると考えられます。

また、皮膚の表面には皮脂膜とよばれる汗と水で構成された成分が覆われています。この皮脂膜は細菌の増殖を抑えたり、外界の刺激から皮膚を守る働きをしています。

真皮は被毛、汗腺、皮脂腺、血管があり、皮膚の保護、体温調整、栄養供給などを行います。皮下組織は脂肪組織で構成されており、クッションのような皮膚の保護や断熱剤の役割を担います。

皮膚の模式図



表皮と角質層の模式図

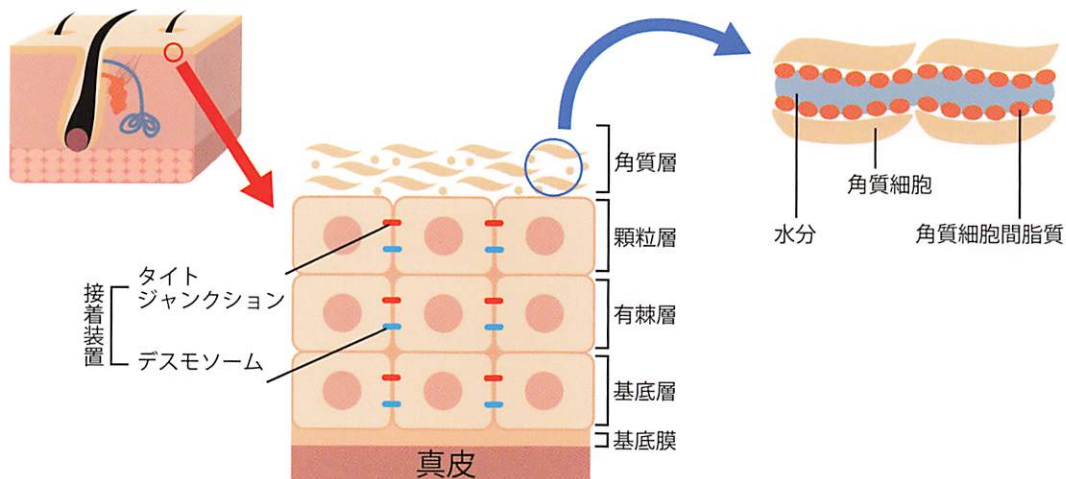


図1 犬の皮膚の構造

シャンプー剤の構成

シャンプーを考える上では、その構成を考える必要があります。シャンプーは、水（80%）、界面活性剤（10～20%）、成分（5～10%）、保存料（1～2%）で構成されます。従って、私たちはシャンプーを理解する上で、多くを占める界面活性剤の特性を把握する必要があります。

界面活性剤

界面活性剤は、汚れを落とす作用や泡立てる作用などがあります。界面活性剤の種類によりそれぞれ特徴があり、犬用シャンプーで用いられる界面活性剤として覚えておきたいものとしては、①高級アルコール系、②石鹸系、③アミノ酸系があり、それぞれにメリット、デメリットがあります。界面活性剤はシャンプーの裏面の成分表記に表示されています（図2）。※全成分表記されていない場合もあります。

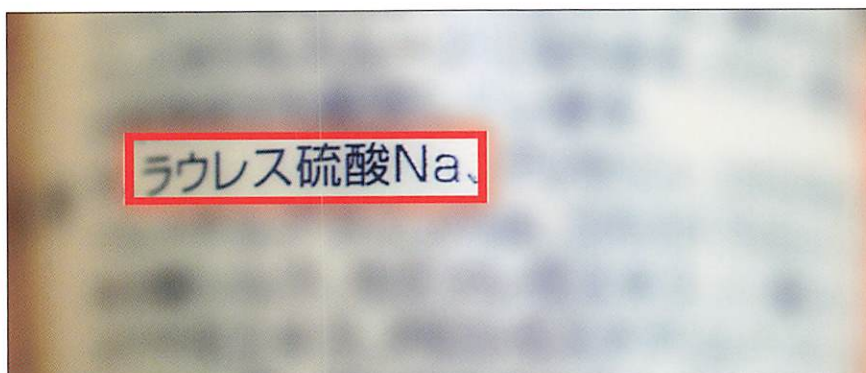
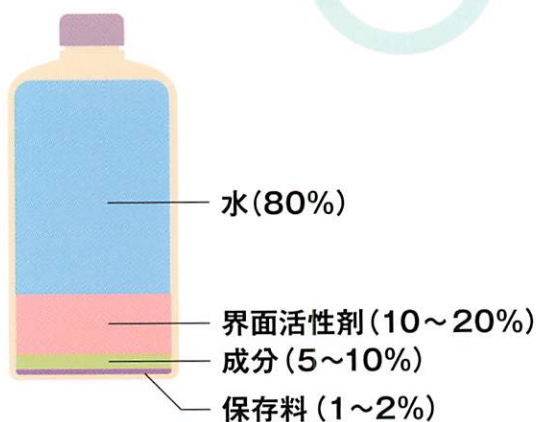


図2 界面活性剤の表記（赤い枠内）

①高級アルコール系（ラウリル硫酸Naなど）

多くは石油が原料となっており、洗浄力や気泡性が高く汚れや皮脂を落とす作用が高いですが、問題点としては皮膚への刺激が強いことです。洗浄力に長けているために、汚れや皮脂が多い場合や洗浄頻度を増やせない場合は、高級アルコール系を使用します。

一方で犬アトピー性皮膚炎などのデリケートな皮膚や、乾燥している皮膚の場合の使用には注意が必要です。

②石鹸系（ラウリル酸Na、オレイン酸Na）

ヤシ油やパーム油などの植物油が原料となっており、洗浄力や起泡性が穏やかな作用を示します。アルカリ性で皮膚表面のpHがアルカリ性に傾くため、刺激性や被毛のバサつきが認められる場合があります。

③アミノ酸系

（ココイルメチルアラニンNa、ラウロイルメチルアラニンNa）

アミノ酸と脂肪酸から作られており、洗浄力はそれほど高くないですが、他の界面活性剤と比較して、皮膚への刺激が少ないのが特徴です。犬のアトピー性皮膚炎においては刺激性の少ないシャンプー剤の使用が推奨されており、このようなアミノ酸系のシャンプーの使用が推奨されます。

汚れや皮脂が多い場合にアミノ酸系のシャンプーを使用する場合は、洗浄力が乏しいため、事前に下洗いやクレンジングを行ってから洗浄するか、洗浄の頻度を増やすようにしましょう。

動物病院で扱うシャンプーの主な成分

薬用シャンプーの成分は、大きく分けると期待される効果により、
①保湿、②止痒、③抗脂漏・角質溶解、④抗菌の4つに分類されます。

①保湿

保湿とは皮膚の水分を保持し潤いや艶を与える成分で、乾燥した皮膚やデリケートな皮膚への適応になります(図3)。

特に犬のアトピー性皮膚炎においては、角質細胞間脂質の一つであるセラミド量の減少が皮膚の乾燥に関わっていると考えられており、保湿成分配合のシャンプーが推奨されています。最近では、泡形状式ポンプなど泡で出てくるシャンプーも発売されています。

[代表される成分]

セラミド関連物質、リピジュア、ヒアルロン酸、コラーゲン、アミノ酸



図3 皮膚が乾燥した状態

②止痒

痒みを緩和し、炎症を和らげる作用があります。軽度な炎症や掻痒がある皮膚、犬アトピー性皮膚炎に適応です(図4)。

[代表される成分]

オートミール、アロエベラ



図4 アトピー性皮膚炎の皮膚

③抗脂漏・角質溶解

脱脂作用や角質溶解、皮膚の軟化作用があり、脂漏症のようなベタつきやフケが多いような場合に適応となります(図5)。サリチル酸は角質溶解作用に優れており、フケが目立つような皮膚、疥癬や毛包虫といった皮膚疾患においても効果が期待できます。

乳酸エチル、過酸化ベンゾイルなどの脱脂作用が強い成分が配合されたシャンプー剤は、重度な脂漏の場合に使用します。脱脂作用が強いものは乾燥しやすいため、部分的な使用のみにしたり、皮膚が乾燥している場合は避け、使用後は必ず保湿剤を使用してください。

[代表される成分]

サリチル酸、乳酸エチル、過酸化ベンゾイル



図5 脂漏症・フケが多い皮膚

④抗菌

ブドウ球菌(表在性膿皮症)、マラセチア(マラセチア性皮膚炎)などの常在菌が増殖した皮膚において適応になります(図6、7)。効果は殺菌および静菌作用が期待されます。

表在性膿皮症はクロルヘキシジンが含有されているシャンプーを、マラセチア性皮膚炎においては2%以上のクロルヘキシジンやミコナゾールが含有されているシャンプーを使用します。表在性膿皮症やマラセチア性皮膚炎などの皮膚病があった場合は、週に2回程度のシャンプーが推奨されており、症状が改善されたら頻度を少なくしていきます。

近年では、ピロクトンオラミン、ヒノキチオールなどの抗菌作用が配合された製剤や、ペプチドテクノロジーといった皮膚の常在菌叢のバランスを意識した製剤も着目されています。

[代表される成分]

グルコン酸クロルヘキシジン、硝酸ミコナゾール、ピロクトンオラミン、ヒノキチオール



図6 膿皮症の皮膚



図7 マラセチア性皮膚炎の皮膚

飼い主さんにシャンプー療法を 継続してもらうための効果的な伝え方

スタッフの多くが、 シャンプー指導で失敗を経験

適切なシャンプー療法は皮膚や被毛の健康を維持し、皮膚病の予防や治療として効果を発揮しますが、一方で、誤ったシャンプー療法により皮膚の悪化を招く場合があります。そのため、私たちは飼い主に慎重に指導しなくてはなりません。

シャンプー療法の指導に関して、動物看護師およびトリマー 25名にアンケートを実施したところ、53%がシャンプー指導で失敗したことがあり、シャンプー指導で失敗したことがない割合は11%でした。また、自宅でのシャンプー療法を指導・推奨しないと答えた割合は26%で、その理由としては飼い主さんがうまくシャンプーができないことや、シャンプー後に毛玉になるなどのトラブルが挙げられていました(図8)。一方で、「指導の失敗がない」と回答していただいた方は、院内で説明ツールを作成し、診察室では獣医師が、受付では動物看護師が再度説明をするとのことでした。

従って、シャンプー療法を指導する際は、ただ指導するだけでなく説明ツールを使用し、飼い主さんへの理解を示しながらうまく誘導する必要があります。

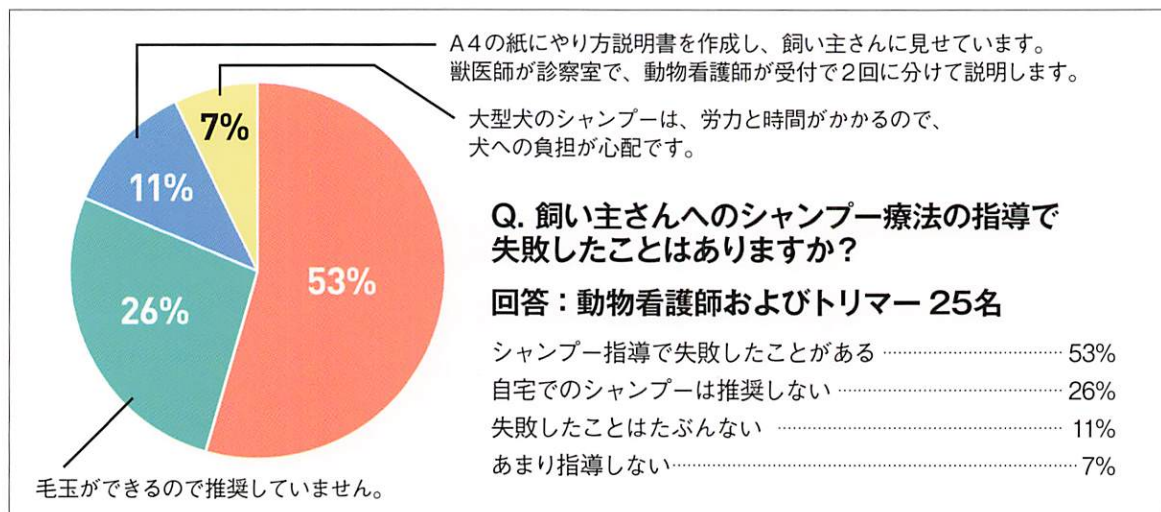
す。そのためにも「伝え方」を意識することはとても重要です。

「伝え方」～アドヒアランス～

伝え方において意識してほしいのがアドヒアランスという考え方です。以前、医学領域においてよく用いられたコンプライアンスという言葉は、医療従事者の指導に対して患者さん(獣医療における飼い主さん)が従うかどうかという受動的な概念でした。

一方、アドヒアランスという言葉は、患者さんやその家族が治療の必要性を十分に理解し、「なぜ、このような処置をしなくてはならないのか」、「どのようにしたらうまくいくか」など、積極的に方針の決定に参加し、粘り強く持続的に実行していくという主体的な概念のことです。

特に、長期的な治療期間を要するような慢性疾患の治療効果を高め、その効果を持続させるためには重要とされています。従って、長期的な管理が必要となる皮膚疾患の患者やその家族が適応となります。アドヒアランスの維持・向上のためにも、私たちは飼い主さんにさまざまな提案ができるようにする必要があります。



アドヒアランス向上のための ワンランク上の工夫

● リラックスできる環境を整えて説明

飼い主さんが診察室で緊張したり、犬が診察台で暴れていたりとすると、コミュニケーションがうまくとれない場合があります。その場合は、診察室以外で場所を設けてもらい、飼い主さんと犬がリラックスしている状態で、改めてお話をしていただくと良いでしょう（図9）。



図9 リラックスできる環境を整えて説明
リラックスできる環境や、飼い主さんへの寄り添う姿勢が大切です。

● リーフレット・掲示板・動画の利用

院内でのリーフレットや掲示板を通して、飼い主さんの目に触れる場所での啓蒙や、実際に動画などをお見せしてお話するとスムーズにご理解いただけます（図10）。

● 飼い主さん向けスキンケアセミナーやシャンプー教室の実施

定期的に院内で皮膚トラブルやシャンプーの方法

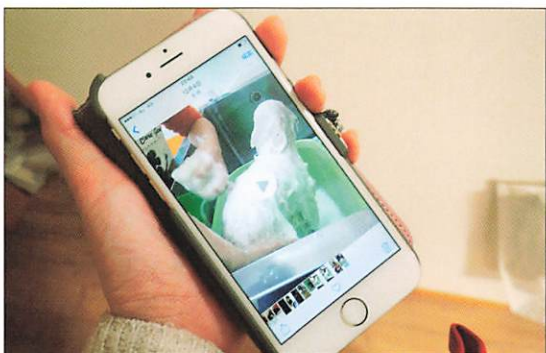


図10 リーフレット・掲示板・動画の利用
動画などを用いて説明すると、飼い主さんの理解度は高まります。

に関するセミナーを開催したり、実際に飼い主さんと一緒にシャンプー療法を行うシャンプー教室を実施することも飼い主さんの教育に効果的です（図11）。また、この時に院内スタッフに参加してもらい情報を共有することも大切です。



図11 飼い主さん向けスキンケアセミナーやシャンプー教室の実施

飼い主さん向けセミナーの実施も効果的です。ご家族が来院しやすい土日での開催がおすすめです。また、飼い主さんだけでなく院内教育としても活用できます。

期待したとおりの 結果が得られなかった場合

シャンプー療法を実施した後、期待したとおりの結果が得られなかった場合は、シャンプーの方法が誤っていないか、飼い主さんが十分に理解できているかなどを再度確認してください。

医学領域においては、アトピー性皮膚炎患者に対するスキンケア指導で、石鹸の使用方法について指導を行うことが症状の改善に有用であったと報告されています。報告によれば、5つの指導要素である①洗浄回数、②洗浄にかかる時間、③洗浄時の力の入れ具合、④石鹸の使用、⑤タオルの使用のすべてに指導効果がみられ、皮膚症状の改善において有用性があったと確認されています。

一方で、過度な洗浄は皮膚の状態を悪化させるため、必ず飼い主さんの理解度を確認してください。また、シャンプーの方法などが誤っておらず、効果が得られない場合はシャンプー剤が合っていない可能性があるため、再度シャンプー剤の選択を行って下さい。

今回、撮影協力をいただきましたらく動物病院様、モデル犬になって頂いたマリオちゃんご家族の皆様にご感謝申し上げます。また、アンケートのご協力いただきましたどうぶつ皮膚科相談室の動物看護師、トリマーの皆様、獣医皮膚科情報の獣医師の先生方、ペットの皮膚科の飼い主の皆様、総勢215名の方に感謝申し上げます。

ご自宅での効果的な シャンプー療法のやり方

シャンプー療法の心構え

ご自宅でシャンプー療法を実施する場合は、
わんちゃんになるべく負担がかからないように実施することを心がけましょう。
さまざまなお役立ちアイテムを取り入れると安全かつ効率的に実施できます。

準備するもの

- | | |
|----------------------------|----------|
| ① ベビーバス
(ランドリーバスケットでも可) | ⑤ 泡立てネット |
| ② 滑り防止マット | ⑥ タオル |
| ③ 桶 | ⑦ スヌード |
| ④ スポンジ | ⑧ 保湿剤 |
| | ⑨ シャンプー剤 |



Point

ご自宅でのシャンプーは、お風呂場や洗面台などを使用すると思いますが、ハンドリングがうまくできなかったり、足場が不安定な場所では関節トラブルの原因になることがあります。ベビーバスや滑り止めマットを使用するなどして、思わぬトラブルが起きないように、まずは適切に洗える環境を整えるようにしましょう。



①ブラッシング

はじめに、やわらかいブラシを用いて毛の流れに沿ってブラッシングします。

トイ・プードルやシー・ズーなどの長毛で柔らかい毛質の犬種は、毛玉ができやすいので、定期的にトリミングサロンや動物病院でのブラッシングを行うようにしましょう。



毛流に沿ってやさしくブラッシングします。

Point

犬のブラッシングに使用するブラシは、さまざまなものが発売されています。

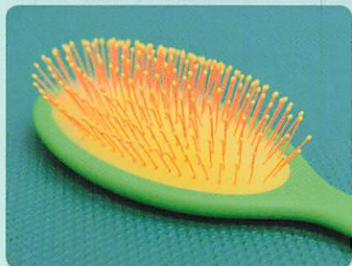
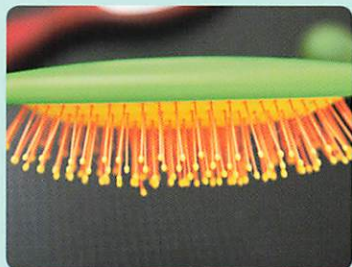
できるだけ使いやすいもの、皮膚や被毛に負担をかけないものを選ぶようにしましょう。

トリミングサロンでよく使用されているスリッカーは、被毛を伸ばすためのブラシな

ので、使う際はテクニックが必要です。うまく使えないと皮膚に刺激を与えてしまうこともあるため、皮膚に負担が少ない、玉つきスリッカー、ウェットブラシ、ピンブラシ、ラバーブラシなどを使用することが推奨されます。

それぞれのブラシは、ピンの柔らかさや長さが異なります。

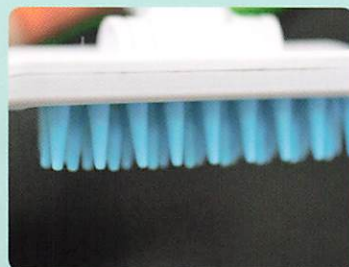
ウェットブラシ



ピンブラシ



ラバーブラシ



動画でCheck!



②体全体をぬるま湯でぬらす

お湯の温度は35℃前後が目安です。冬場で寒がる場合は、湯の温度を調整したり部屋の室温を上げたりして工夫してください。



35℃前後を目安にお湯の温度を確認します。

シャワーヘッドを体に接着させながらすすぐと、犬が嫌がらずに全身をぬらすことができます。

嫌がる場合は無理をせず、足先だけをぬらしたり、まずは水に慣れさせてから体全体をぬらすようにしましょう。



シャワーヘッドを体に接着させながらすすぐと、効果的に全身をぬらすことができます。

Point

水を嫌がる子や、シャワーの音や水圧が苦手な子は、ベビーバスにお湯を溜めてから体をお湯につけてあげると、うまく全身をぬらすことができます。



Point

皮膚や被毛のべたつきが多い場合は、クレンジングオイルを使用すると効果的です。クレンジングオイルは、シャンプーだけで皮脂や汚れを除去するのが難しい場合に、シャンプーの前に使います。クレンジング剤は皮膚に残留するため、単独で用いられることは少なく使用後の拭き取りや追加洗浄（ダブル洗浄）で用いられることが一般的です。通常の使用方法としては、皮膚や被毛を水でぬらす前にクレンジングオイルを塗布し、そ

の後はいつもの通りのシャンプーで洗浄を行います。最近では水にぬらしても使用できるクレンジングシャンプーも購入できます。一方で、クレンジングは脂を落とし過ぎてしまうというデメリットもありますので、皮膚の状態に応じて使用することが重要です。

動画でCheck!





③ シャンプー

シャンプー剤はスポンジなどを用いてよく泡立て、きめ細かい泡をつくります。泡は手に乗せて逆さまにした時、落ちないくらいの固さのものにします。スポンジや泡立てネットなどを用いると簡単に泡をつくることができます。

泡をやさしく体全体に乗せ、皮膚や被毛に付着させます。泡を3～5分程度つけ置きするとさらに効

果的です。



手のひらを逆さにしても落ちない程度の、弾力性のあるきめ細かい泡をつくります。



1 泡立てるためのスポンジや泡立てネットと器（洗面器など）を用意します。



2 シャンプーをスポンジにつけます。



3 器にスポンジを入れ、シャワーでお湯を入れます。



4 よくかき混ぜて泡をつくります。



5 泡立てたシャンプー剤を体に乗せていきます。



6 泡をやさしく体全体に乗せ、マッサージするように皮膚や被毛に付着させます。

Point

皮膚への負担を軽減し、効果的に洗浄するためには、よく泡立てた泡を皮膚や被毛に接触させることが肝要です。

効率的な泡立てには、スポンジ、泡立てネット、泡立て器、ミキサー、ジュース

ボトルなどを活用すると効果的です。ポンプをプッシュすると泡状でシャンプー剤が出てくる、泡形状式ポンプのシャンプー剤（AFLOAT VET低刺激シャンプー、ヒノケア® for プロフェッショナルズなど）も発売されています。

動画でCheck!



④ シャンプーをすすぐ

体に付着させたシャンプーの泡をすすぎます。ぬめぬめとした感触が消えるまで洗い流してください。

顔をすすぐ時は、手のひらに乗せたお湯をやさし

くかけたり、お湯を含ませたスポンジをしぼったりすると、嫌がらずにすすぐことができます。

水が顔にかかるのが苦手な場合は、無理にすすがないように注意をしてください。



1
すすぎは、ぬめぬめとした感触が消えるまで洗い流します。



2
顔は手のひらにのせた水をやさしくかけたり、水を含ませたスポンジをしぼったりすると嫌がらずにできます。



3
水が顔にかかるのが苦手な場合は無理をしないように注意してください。

動画でCheck!



⑤ 保湿

シャンプーした後の皮膚は乾燥するので、水分を補充するために保湿剤を使用します。

保湿剤はいわゆる美容液のような役目を果たしますが、保湿成分（セラミド、ヒアルロン酸、リピジュア、アミノ酸、尿素など）が含まれています。ローション、スプレー、スポットオン、フォーム、ジ

ェルなどさまざまなタイプの保湿剤がありますので、使用しやすいタイプの製剤を使うと良いでしょう。

たとえば、被毛部はスプレー、腹部はフォーム、肉球はジェルといったように、使用感、部位によって使い分けるとさらに効果的です。

特にスポットオンタイプは濃度が濃く、徐放作用があるため1週間に1回のケアとして用いるなども有用です。



1
桶に適量の保湿剤を入れます。



2
希釈のためのお湯を入れます。



3
シャンプー剤をしっかり流しきった後に保湿剤をつけるようにしましょう。



スプレータイプの保湿剤もあります。



ピベットタイプの保湿剤もあります。



⑥ 乾かす

ドライヤーとタオルを用いて、被毛を乾かします。顔回りはやさしく撫でるようにタオルで拭き、特に脇の下、鼠径部、耳の後ろなどの毛玉になりやすい部分は、ブラッシングしながら乾かすようにしてく

ださい。ドライヤーの音や風圧に敏感な子の場合は、風圧を調整したり、耳にスヌードを付けるなどしながら行ってください。

また、夏場は熱中症の危険もあるので、室温を涼しくするなどの工夫をすると良いでしょう。



保湿剤をついたらタオルドライをします。



顔回りは特にやさしく撫でるように拭きます。



タオルで拭きにくい部分は、キッチンペーパーなどを使用しても水分をとることができます。



顔を拭いたら、吸水性のよいタオルでやさしく全身を包み込むように、体全体を拭きます。ペットシーツの吸水シートを利用して効率的に拭くことができます。



タオルでおおよその水分をとったら、ドライヤーとブラシを用いて乾かします。



ドライヤーの音などに敏感な子は、スヌードの着用もおすすめです。

Point

マイクロファイバー入りタオル、スイムタオル、スヌード、ペットシーツ、キッチンペーパーなどを活用すると、短時間で効率的に乾かすことができます。

Point

シャンプー療法実施後に赤くなる、痒くなる、フケがでるなどのトラブルが起きた場合は、シャンプーが合っていない、あるいはシャンプーの方法が間違っている可能性が考えられます。そのような場合は、獣医師にご相談ください。

Point

ペットボトルでの泡立法

空のペットボトルに少量の水とシャンプー剤を入れて20秒ほど振ります。その後、スポンジで泡立てを行うと、きめ細かい泡をつくることができます。



1 ペットボトルに水を少量とシャンプー剤を入れます。



2 ペットボトルを上下に20秒ほど振り、攪拌させます。



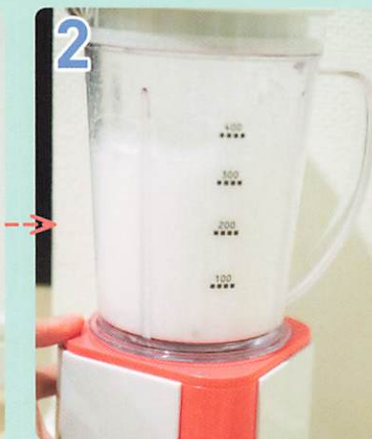
3 泡ができるので、スポンジでさらに泡立て、きめ細かい泡をつくります。

家庭用ミキサー・ジューサーを用いた泡立法

家庭用ミキサー・ジューサーに少量の水とシャンプー剤を入れて20秒ほど混ぜます。その後、スポンジで泡立てを行うと、きめ細かい泡をつくることができます。



1 家庭用ジューサーに水と少量のシャンプー剤を入れます。



2 家庭用ジューサーで20秒ほど攪拌させます。



3 泡ができるので、スポンジでさらに泡立て、きめ細かい泡をつくります。



カリスマ美容師集団

AFLOAT
と共同開発!



AFLOAT DOG



香り長持ちリニユール♪

アロマテラピーックフローラルの香り

仕上がりさらに良好

リニユール
ポイント

香料リニユール

より人気の高い、人用のAFLOAT シリーズと同様の香りに変更しました

香りの持続性UP

香料の変更により、以前と比べて香りの持続性が向上しました

仕上がりの改善

配合比率の調整により、以前よりもよりふっくらと、よりしっとり仕上がるようになりました。

お客様満足度

80%
以上



Petience®

獣医皮膚科・スキンケアの専門メーカーを目指します。



株式会社ペティエンスメディカル (英: Petience Medical Corporation)

〒194-0022 東京都町田市森野1丁目27番14号 サカヤビル2F
TEL.042-860-7462 FAX.042-860-7463 info@afloat-dog.com
<http://www.petience.com> <http://afloat-dog.com>